

オーラルヒストリーによる英語学習法に関する質的研究： 「音読」の効果について

岡山大学 全学教育・学生支援機構基幹教育センター 外国語教育部門 那須 雅子
日本国際教養学会第7回全国大会 ポスターセッション (平成30年3月10日)

■研究の目的

オーラルヒストリーの手法を援用して外国語学習の成功者を対象にその学習履歴や体験に関する口述インタビューを実施し、約40名のデータを蓄積した。本発表では、これらの口述記録の分析結果に基づいて、日本人学習者にとって有効な学習法を特定するとともに、「音読」によって特に高度な英語力を身に付けた学習者のインタビューを抽出し、「音読」の効果を報告する。

■これまでのインタビュー実施 (平成23年3月～平成27年12月)

対象者 40人

○日本人 35人

(社会人12人・大学(院)生17人・高専生1人・高校生1人・中学生4人)

- ・長期海外滞在歴のない方 16人
- ・長期海外滞在歴のある方 19人

○その他 5人

- ・アメリカ人1人 日本語学習・日本長期在住
- ・中国人1人 日本語学習・日本長期在住
- ・韓国人1人 日本語学習・日本滞在歴なし
- ・タイ人1人 英語学習
- ・ドイツ人1人 日本語学習

オーラルヒストリー研究の利点

○「成功者の声」

秀でた英語運用力を英語(外国語)学習を通じて身に付けた成功者の実体験を調査することにより、有益な学習法を明らかにする手がかりを得ることができる。

○「長期的な視点」

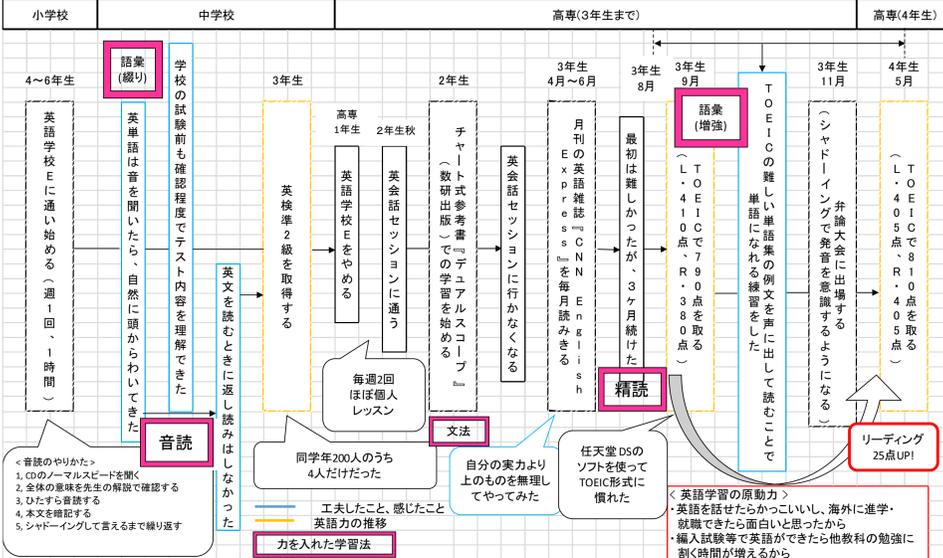
オーラルヒストリーでは、長期間にわたるトータルな学習の軌跡を辿ることによって長期的学習を扱うことが可能である。

NO	所属など	①音読	②精読	③多読	④多読	⑤語彙	⑥文法	その他	備考	メモ
1	高専4年生	○	○						TOEIC 810	
2	K大学法学部法律学科1年		○						TOEFL 102	海外経験なし
3	K大学法学部法律学科1年		○					ライティング	英検1級・中3	米・中国長期滞在
4	K大学法学部法律学科1年		○					ドラマ、映画、ライティング	中2で英検2級・高校で英検準1級	高校3年間NY
5	K大学法学部法律学科2年		○	○				音楽	TOEIC 895(L495 R400)	海外経験なし
6	K大学法学部法律学科2年		○						TOEIC 910(大学入試直後)	海外経験なし
7	D大学G学部1年		○					映画、暗唱	TOEIC 830高3、TOEFL 85高3 607大1	高2年間米留学
8	D大学G学部1年		○						TOEIC 850高3 英検準1級高3 TOEFL 550大1	8歳～11歳まで米
9	H大学附属高等学校1年		○						英検1級中3	
10	英会話講師		○						TOEIC 990	米大学など5年間
11	H大学附属中学校		○					模写	TOEIC 955	中2オーストラリア二週留学
12	H大学附属中学校		○						英検2級・中3	中2オーストラリア二週留学
13	H大学附属中学校		○						英検準2級・2級・中2	中2オーストラリア二週留学
14	H大学附属中学校		○						英検2級・中2	中2オーストラリア二週留学
15	K大学法学部法律学科4年		○						大学英語検定	
16	社会人		○					暗唱	日本英語検定1級	日本語
17	S大学法学部政治学科4年生		○						TOEIC 780大3	
18	T大学大学院総合文化研究科博士1年生		○						英検1級・TOEIC990	
19	T大学博士1年生		○						TOEFL 107修士2	留学
20	T大学教育学部研究科M1年生		○					暗唱、ライティング	TOEIC 955	高1年間NZ 大学3年間AU
21	T大学教育学部研究科M1年生		○					模写、ライティング	英検準2級・TOEIC 880大1	
22	T大学教育学部研究科M1年生		○						TOEIC 735大3	
23	社会人		○					暗唱、ライティング	英検1級・中～高 TOEFL pbt 600大1	英語・中国語
24	T大学 研究者(アメリカ人)		○						日本語書出版	日本語
25	T大学外国語学部英語専攻		○					演劇	TOEFL 78高2 89高3 102大1 英検1級大2 TOEIC 955大3	
26	T大学外国語学部英語専攻		○						英検準1級高2 TOEIC 885大3	9～12歳シンガポール
27	T大学外国語学部英語専攻		○					ライティング	TOEIC 815大3	
28	T大学大学院		○					ライティング	英検準1級大1 TOEFL 102/120留学後 TOEIC945社会人	カナダ2年半
29	G大学 研究者		○						英検1級・中3	大学から留学、海外勤務
30	日本語家 欧州航空貨物部 部長		○					ドラマ	TOEFL 500(19歳) TOEIC900(25歳)	海外勤務
31	社会人		○							小4～6スペイン滞在
32	日本語家 水島海運支店		○							
33	D大学G学部4年		○							
34	D大学 留学生		○							
35	スウェーデン 研究機関		○						受験勉強	スウェーデン留学(大学院修了後)
36	ボタジエ・アジア・パシフィック代表取締役		○						英検1級・留学前TOEFL600	オーストラリア1年間留学
37	Heavenese ミュージシャン・カウンセラー		○							高校時米留学
38	Heavenese ミュージシャン		○							日本語を聴き取れ
39	タイ人		○					漫画・映画		日本語を聴き取れ
40	H大学大学院		○							日本語を聴き取れ

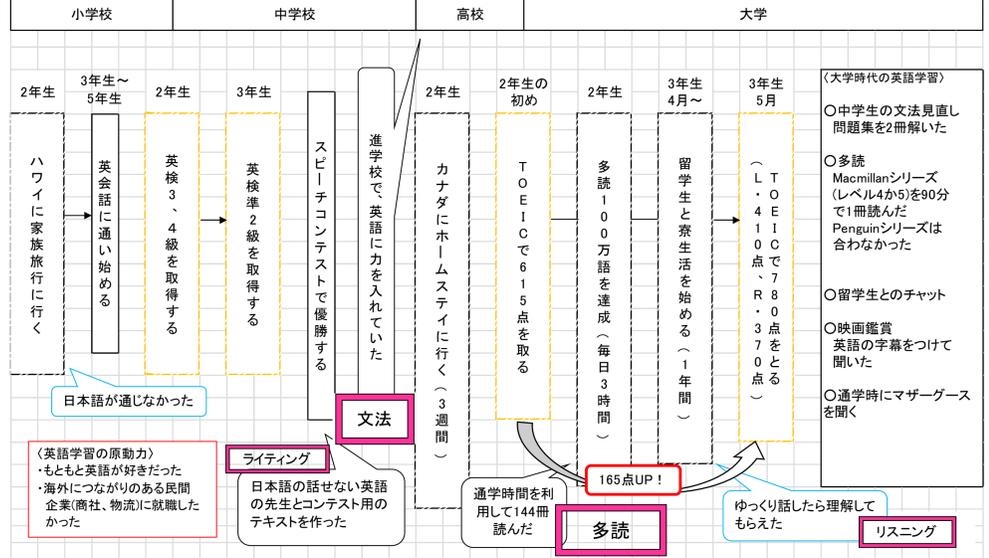
■時間軸を取り入れた質的研究による分析

等至性 (Equifinality) とは、複線径路等至性アプローチ (Trajectory Equifinality Approach: TEA) の根幹となる概念である。「複数の異なる径路を通ったとしても同じ到達点に達する」という考え方は、語学学習にもあてはまる。高度な英語力を習得することを到達点とみなし、学習経験を時間軸に描いて可視化することによって有益な学習法を詳細に解明する。今回は、複線径路等至性モデリング (Trajectory Equifinality Modeling: TEM) を基に、「音読」に重点を置いた2人 (No.1とNo.19) の学習経路を分析考察した。また、多読に重点を置いて学習したNo.17と比較対象とする。

■No.1 Mくん (高専4年生) 海外経験なし



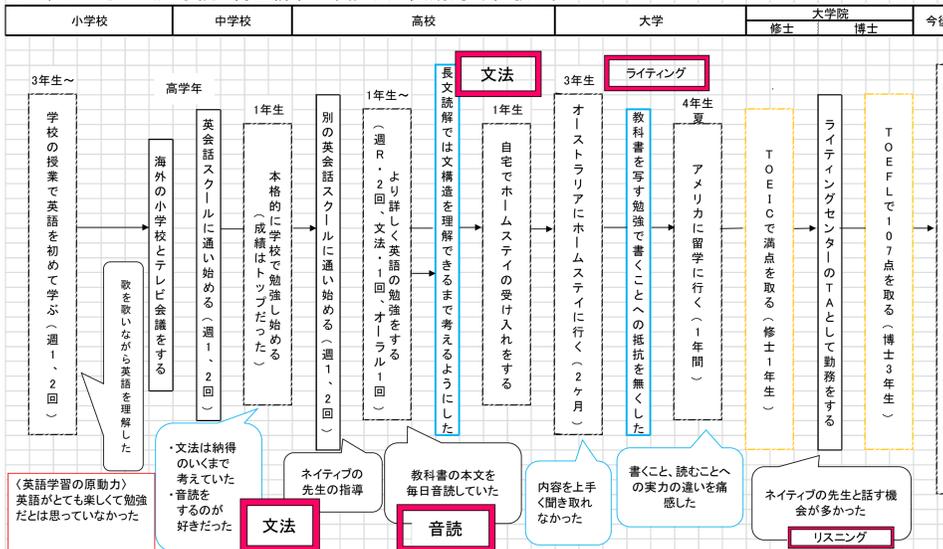
■No.17 Kさん (大学4年生) 長期海外経験なし



<インタビューの抜粋> **音読をひたすら**
小6から中3まで週1回、通っていました。教材を音読しまくって英語に慣れるという感じでした。まず、CDのノーマルスピードで聞いて一通り意味を取ってからひたすら音読して暗記する。最後には、CDにシャドウイングして言うようにしました。4年間やったおかげで、英文に対する抵抗は全然なくなったと思います。英語がずっと頭に入ってくるようになりました。

<インタビューの抜粋> **Graded Readersによる多読の効果**
易しいものをたくさん読んで100万語以上を読んだ。通学2時間のうち、日に3時間、約5か月の読書で100万語(144冊)を超えて160冊読んだ。読んだのは1日で読み切れる1万語前後の本が多い。多読は、今までで一番合っていた勉強法です。

■No.19 Tさん (大学院 博士課程3年修了) 長期海外経験1年



<インタビュー抜粋> **音読マニア**
英語塾に通ったことはないのですが、学校で与えられたものや、教科書の英文をノートに書き写して、音読していました。本当に音読が好きで、自然に自分の音を聞いて、実際のネイティブの音も聞きました。音読をしているおかげで、テストも勉強しなくても全部覚えていました。暗唱もしてかなり頭に入っているため、テストで困ったことが一度もなかったです。

■考察

- ・音読は、小学校、中学校の段階において英語の構造や音声を効果が高い。
- ・音読の方法としては、文の意味が必ずしも完璧に分からなくても、暗唱する程度にまで繰り返すことが重要である。
- ・高い英語力に到達するには、複数の学習法がある。

■今後の課題

対象者の学習経験を抽出し、英語力を習得する複数プロセスの変容過程を理解し、時間軸の中で複数経路をたどる語学学習の経験を総合的に、質的に分析する必要がある。より多くの多様な学習経路を明らかにしていくことが期待される。